

THE TEAM FESTIVAL 2024 SUMMER

< 開催要項 >

主催	公益財団法人 JAPAN BOWLING
協力	日本ボウリング機構（JBO）・株式会社ボウルスター
開催月日	2024年7月27日（土）～28日（日）
会場	稲沢グランドボウル（公競No.122-064） 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1 電話 0587-21-2131
競技種目	ダブルス戦・チーム（4人）戦（男女混合可）
競技方式	ベーカー方式の競技は、シングルレーン方式（ヨーロッパ方式）、スカッチ方式及びレギュラー方式の競技は、デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。
競技方法	ダブルス戦（参加定員：80チーム） 1st ラウンド（レギュラー方式）6ゲーム（チーム合計12ゲーム、1ゲームごとにレーン移動） 1st ラウンド（スカッチ方式）3ゲーム（1ゲームごとにレーン移動） レギュラー・スカッチ合計15ゲームの総得点上位より24チームが通過する。 2nd ラウンド 1st ラウンド通過24チームを3グループに振り分け、スカッチ方式のラウンドロビンを行い、勝ポイント20ポイント（同点の場合は引き分けとし、両チームに各10ポイント）を加えた7ゲームの合計得点で各グループの最上位チームが通過する。（ゼロスタート） ファイナル 2nd ラウンド通過チーム（3チーム）と主催者推薦チームの4チームで「スーパーワンショットリレー200」を行い、順位を決定する。（詳細な競技方法は別紙参照） チーム戦（4人）（参加定員：56チーム） 予選ラウンド（駅伝方式） 全区間合計22ゲーム（1ゲームごとにレーン移動）の総得点上位より3チームが通過する。（区間内容など詳細な競技方法は別紙参照） ファイナル 予選ラウンド通過チーム（3チーム）と主催者推薦チームの4チームで「カレントカウンタップ360」を行い、順位を決定する。（詳細な競技方法は別紙参照）
ハンディキャップ	女子選手に15点のハンディキャップを与える（レギュラー方式のみ）
競技規程	JBボウリング競技規則を適用する。
同位の裁定	1stラウンド・予選ラウンド・2ndラウンド・ファイナルにおいて同位が生じた場合、以下の順に沿って順位を決定する。

	ダブルス戦	チーム戦（4人）
①	1st ラウンドにけるスカッチ方式の総得点上位	予選ラウンドにおけるベーカー方式（5区）の総得点の上位
②	1st ラウンドにおけるレギュラー方式の総得点上位	予選ラウンドにおけるスカッチ方式（2区）の総得点の上位
③	1st ラウンドにけるスカッチ方式のゲームローハイの差の少ないチーム	予選ラウンドにおけるダブルス（3区）の総得点の上位
④	1st ラウンドにけるレギュラー方式のゲームローハイの差の少ないチーム	予選ラウンドにおけるシングルス（4区）の総得点の上位
⑤	1st ラウンドにけるスカッチ方式のストライク数の多いチーム	予選ラウンドにおけるシングルス（1区）の総得点の上位
⑥	1st ラウンドにけるレギュラー方式のストライク数の多いチーム	予選ラウンドにおけるベーカー方式（5区）のゲームローハイの差の少ないチーム

※上記①～⑥でも裁定できない場合、9-10 フレームの決定戦を行い順位を決定する。

参加資格 競技ボウラーであれば誰でも参加できる（JB 会員でなくても参加可能）

施設使用料 ダブルス戦：1名 9,750円（JB 一時会員は9,950円）

4人チーム戦：1名 8,400円（JB 一時会員は8,600円）

※種目毎のエントリーとし、参加を希望する種目のみの申込で構わない。

※施設使用料は申込後に送付する納入方法を確認のうえ送金すること。

※施設使用料内に稲沢グランドボウルのフリードリンク代を含む。

褒 賞

1) チーム優勝～第3位

※主催者推薦チームは褒賞対象外とする。

2) 区間賞（チーム戦・予選ラウンド各区分における最高得点者（チーム）が対象）

申込方法

JB ホームページ (<https://www.japan-bowling.or.jp/topics/240424/>) にアクセスの上、チーム代表者が下記いずれかの方法で申し込むこと。



1) ①チーム代表者がオンライン申込フォームにて申し込む。

②申し込み後に送られてくる Excel データに必要事項を記入し、指定の E-Mail アドレスにデータを送信する。

③申し込み後に送られてくる施設使用料の納入方法を確認し、施設使用料を送金する。

→①～③を終えて申込完了とする。

2) ①参加申込書送付して申し込む。（FAX またはメール）

※受付時間（平日 11:00～17:00）外に受信した参加申込書は翌営業日の受付開始時刻付に受理する。

②申し込み後に送られてくる施設使用料の納入方法を確認し、施設使用料を送金する。

→①～②を終えて申込完了とする。

申込期間→2024年5月7日（火）11:00～2024年6月24日（月）23:59

※先着順とし、定員に達し次第締め切る。（定員に達しなかった場合、追加募集を行う場合あり）

※期間前の申込みは受け付けない。

問合せ先

公益財団法人 JAPAN BOWLING

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 5F

TEL : 03-6804-5605 FAX : 03-6804-5606 Mail : teamfes@japan-bowling.or.jp

注意事項

1. 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
2. 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証（原本または写し）を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
3. 補欠の選手登録は認めない。
4. JB 非会員も参加できるが、参加申込をもって JB へ一時会員登録することを承諾したものとみなす。その費用は 1 種目 200 円とし、有効競技会は本競技会のみとする。
5. ユニフォームには氏名を明記し、チームメンバーは出来る限り同一デザインのユニフォームを着用すること。ユニフォームはスポーツに適したものとし、上半身に着用する衣服は袖のついたもの、下半身に着用する衣服は、スラックス、スカートまたは運動用ショートパンツとする。（ジーンズ生地は禁止）
6. JB 会員はユニフォームに JB ワッペンを着用すること。
7. 本競技会に使用できるボールは全て International Bowling Federation または JB の公式認定ボールとする。あらかじめ JB ホームページ (<http://www.japan-bowling.or.jp/forbowlers/>) にて確認すること。認定されていないボールを使用していた場合、失格となる。
8. 本競技会においてバランスホールがドリルされているボールの使用は JB 競技規則違反となる。
9. 大会に使用するボールの会場への持込みは **6 個以内**とする。
10. 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300 円の発行手数料を添えて申請すること。
11. 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名・年齢・性別・記録・肖像等）は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用权は主催者に属する。
12. 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。

※ドーピング検査について※

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

THE TEAM FESTIVAL 2024 SUMMER

競技日程

会場: 稲沢グランドボウル(愛知県)

月 日	時 間	内 容		備 考
(第1日目)	8:30~9:00	選手入場・ダブルス戦受付		
7月27日 (土)	9:30~13:00	ダブルス 1stラウンド (レギュラー方式)	1BOX4名 2×2名打	レギュラー方式6ゲーム
	13:30~14:30	ダブルス 1stラウンド (スカッチ方式)	1BOX4名 2×2名打	スカッチ方式3ゲーム
	14:50~17:00	ダブルス 2ndラウンド	1BOX4名 2×2名打	スカッチ方式7ゲーム (ラウンドロビン)
	17:20~18:10	ダブルス ファイナル (表彰式含む)		スーパーワンショットリレー200
	(第2日目)	8:00~8:30	選手入場・チーム戦(4人)受付	
7月28日 (日)	9:00~16:00	チーム戦(4人) 予選ラウンド (チーム対抗駅伝方式)	1BOX2チーム	チーム合計22ゲーム
	16:45~17:35	チーム戦(4人) ファイナル (表彰式含む)		カレントカウントアップ360

※参加人数によりスケジュールが変更になる場合があります。

※競技の進行状況により開始時間が前後する場合があります。

THE TEAM FESTIVAL 2024 SUMMER

< チーム戦予選ラウンド 駅伝方式 競技方法詳細 >

【予選ラウンド方式】「駅伝」(チーム合計 22 ゲーム)

各チームが決められた5区間(トータル22ゲーム)を投球し、全区間の総得点上位より3チームがFINALラウンドに進出する。

【区間詳細】

区間	1区	2区	3区	4区	5区
内容	シングルス	スカッチ(全員)	ダブルス	シングルス	ベーカー(全員)
投球者	A	全員	B, C	D	全員
ゲーム数	3	3	3(計6)	5	5
トータル	3	6	12	17	22

《1区》シングルス(3G)

投球者: 選手A

競技内容: レギュラー方式で3ゲーム投球する。

《2区》スカッチ(3G)

投球者: チーム全員(投球順は各チームで決定)

競技内容: スカッチ方式で3ゲーム投球する。

《3区》ダブルス(3G)

投球者: 選手B・C

競技内容: レギュラー方式で3ゲームずつ(計6ゲーム)投球する。

《4区》シングルス(5G)

投球者: 選手D

競技内容: レギュラー方式で5ゲーム投球する。

《5区》ベーカー(5G)

投球者: チーム全員(投球順は各チームで決定)

【競技方式】

ベーカー方式の競技は、シングルレーン方式(ヨーロッパ方式)、スカッチ方式及びレギュラー方式の競技は、デュアルレーン方式(アメリカ方式)で実施する。

【特別褒章】

各区間における最高得点者(チーム)に対し、区間賞を贈呈する。

※1 区間賞が同ピンだった場合は、区間内のハイゲームが高かったチームを上位とする。ハイゲームが同じ場合はストライク数の多いチームを上位とし、ストライク数も同じ場合はスペア数の多いチームを上位とする。

【ダブルス戦】「スーパーワンショットリレー200」

- ① 2nd ラウンド各グループの最上位チームと主催者推薦チームの4チームをFINAL 出場チームとする。
- ② 各チーム内で投球順を決めて、各チーム第1投球者から順に1投ずつ投球する。最終チームの第1投球者の投球が終わったら、最初のチームの第2投球者が投球する。これを繰り返し、倒したピンの本数が最初に200本に到達したチームの優勝とする。(ただし、主催者推薦チームは最終順位に含まない。よって、最初に200本に到達したのが主催者推薦チームだった場合はそのまま競技を続行する)

※1 この競技は倒した本数でカウントするため、ストライクであっても「10本」とする。

※2 投球は必ず交互に行うものとする(同じ投球回数で200本に到達した場合は、代表者によるワンショットマッチで決着をつける)

※3 投球がストライクではなかった場合、2投目は投球せずリセットをし、次の投球者が投げる際は10本立った状態で投球する。

※4 ボーナスポイントとして、ストライクが3回続いた場合は+10点を加算、以降ストライクが続く毎に+10点を加算して計算する。

(例)	選手 A	選手 B	選手 A	選手 B	選手 A
倒した本数	8本	10本	10本	10本	10本
合計得点	8点	18点	28点	48点	68点

※5 投球するレーンは、2nd ラウンド7ゲームの総得点上位チームが優先的選択権を有する。

※6 投球する順番は、レーン番号の若い方から順に投球する。

※7 最初のチームが200本に到達した時点で決着とし、第2位第3位はその時点での得点数で決めるものとする。(ただし、到達したターンは全チームが投球し投球回数に差はつかないようにする) また、主催者推薦チームが最初の到達チームだった場合はいずれかの予選通過チームが到達するまで競技を続行する。

【チーム戦】「カレントカウントアップ360」

- ① 予選ラウンド上位3チームと主催者推薦チームの4チームをFINAL 出場チームとする。
- ② 各チームで投球順番を決定し、第1投球者から順にベーカー方式で競技を行う。(カレントスコアリングシステムでスコアは計算する) フレーム毎にスコアが加算される中で、最初に360本に到達したチームの勝利とする。(ただし、主催者推薦チームは最終順位に含まない。よって、最初に360本に到達したのが主催者推薦チームだった場合はそのまま競技を続行する)

※1 投球するレーンは、予選ラウンドの総得点上位チームが優先的選択権を有する。

※2 投球する順番は、レーン番号の若い方から順に投球する。

※3 勝敗の決着は360本に到達したフレームの早さでつけるものとし、ストライクの数や投球した回数は考慮しないものとする。(ただし、同じフレームで360本に到達した場合は、各チームの代表者によるワンショットマッチで決着をつけることとする)

※4 2ゲーム目突入時は投球順番を元に戻すのではなく、10フレームを投球した選手の次を投球する予定だった選手が2ゲーム目第1フレームを投球する。

(例: 1ゲーム目に1, 5, 9フレームを投げた選手が2ゲーム目は3, 7フレーム目を投球する)